霧島発見：伝説が息づく島を探検

※Land of legends:直訳では「伝説の島」となってしまうため、誤解のないよう補足（息づく）を加えています。

古代神社を通り別世界へ

「霧の島」の名の通り、霧島は霧、神話、そして伝説につつまれた山岳地帯です。古き霧島神宮はこの神秘的な地域とその神話への入り口。この地域は、日本最古の歴史書『古事記』――日本誕生や初代天皇に加え、神や女神に関する幻想的な説話を記した書――にも登場します。霧島神宮では、日本の初代天皇の先祖、そして太陽神である天照大神の孫とされている瓊瓊杵尊（ニニギノミコト）が祀られています。ここには何世代にも渡って、金運や恋愛運を求める人たちが神社の広大な敷地に足を運んできました。周辺地を探検する前に、立派な朱塗りの建物で祈るのです。

地上に降臨した神

伝説によると、神である瓊瓊杵尊は地上世界を統治するために天空から舞い降りたとされています。彼は霧島連山にある高千穂峰の頂上に降り立ち、持っていた三叉の槍、天逆鉾（アマノサカホコ）を地に突き立てて降臨を知らせました。この槍は山峰の岩から突き出ており今でも見ることができるといわれています。また、瓊瓊杵尊は日本の皇族の先祖とされています。伝説によると、日本初代天皇である神武天皇は瓊瓊杵尊のひ孫であり、その御子孫は、太陽神の天照大神から瓊瓊杵尊に授けられた三種の神器、剣・鏡・勾玉を今でも持っていると言われています。

旧霧島神宮の地、古宮址

霧島神宮は現在、山の麓に位置していますが、６世紀に建てられた当初の建物は、背門丘（セトヲ）――瓊瓊杵命が降臨したとされる高千穂峰と、火常峰（ヒノトコミネ、御鉢クレーターの旧名）の間

の窪みーーにあり、10 世紀半ばまではここに鎮座していました。この時御鉢の火山噴火があり、古宮址の現在地、高千穂河原に移らざるをえなくなったのです。1234 年の大噴火で神社は全壊しましたが、1484 年に再建されました。

古宮址の旧神宮跡では今も定期的に祭祀が行われており、訪問することができます。中でも最も有名な祭りの一つ、天孫降臨祭は、毎年瓊瓊杵尊の地上降臨を祝って 11 月 10 日に開催されます。登山者の方も、ここから御鉢クレーターと中岳の壮観な景色をお楽しみになれます。そして晩春には、あたりは鮮やかなツツジに囲まれます。

心を癒やす霧島温泉郷

霧島という名前は、この地を包む霧と、数々の温泉から噴き出る蒸気に由来します。霧島には多数の温泉施設が点在します。温泉の湯船は様々で、それぞれ異なる温度、化学成分、設備、景色をお楽しみいただけます。心地良い温泉で筋肉痛を和らげて心を落ち着かせるだけでなく、ミネラル豊富な温泉水でゆで上げた卵や野菜で彩られた食事を提供している温泉施設もあります。これだけ温泉の数が多いと、ひとつに絞るのはとても難しいことです。幸い、ホテルの多くはわずかな手数料で宿泊客以外にも湯船を解放しているので、好きなだけ温泉を試すことができます。湯船から上がったら、霧島山から流れ出た新鮮な天然温泉水を一杯いかがですか。

地元の名物が目白押しの美食の楽園

霧島には、どんな好みをお持ちの方でも楽しめる名物料理がたくさん揃っています。注目の特産品は、ジューシーな豚肉や牛肉、そして鶏肉です。さつま芋が原料の地元醸造焼酎と一緒にいただくのがベストです。

お茶がお好きな方には地元の日本茶、霧島茶をお試しいただくことをお勧めします。霧島茶は日本屈指のお茶と考えられています。茶畑は、現地の霧深く冷涼な気候で栽培することで紫外線から守ることができ、コクのある豊かな香りの茶が生まれます。

霧島の黒酢は、何百年もの歴史がある陶器の壺に入れ、これを何列も並べ屋外で醸造します。このお酢は非常に口当たりが良く、消化を促し血圧を下げる働きがあると言われています。

霧島連山の形成

霧島連山は、複雑な地質構造の火山が約 20 個連なってできています。中にはまだ活動しているものも幾つかあり、周りの地域は常に変化しています。この地域で最初に活動が始まったのは、現在の霧島連山となる場所の北東側に小林カルデラの火山性クレーターが形成された約 530,000 年前です。340,000 年ほど前にも大噴火があり、北西側に加久藤カルデラを形成して今の地形がほぼ完成しました。他にも、17,000～7,300 年前の間に起こった韓国岳の噴火はこの地域の最高峰を生み出しており、主要噴火の一つとなっています。多くの火山では何千年も噴火が起きていませんが、時の経過とともに草木や森林構造が推移、繁茂することで地形は変わり続けています。

神秘的な山頂への登山

登山コースはたくさんあり、2 時間のトレッキングから、険しい箇所も登る日帰り登山まで、様々なレベルに適したルートを用意しており、初心者にも上級者にも適しています。えびの高原のコースは冬でも比較的易しく、3 つの火口湖を歩いてまわり地域の野花を間近で見ることができます。登山経験豊富な方であれば、韓国岳のルートが楽しめるでしょう。火山の急坂を直に経験することができ、本格的なチャレンジコースとなっています。現地の観光情報センターとエコミュージアムで必要な情報を余さず入手し、忘れられない旅にしましょう。

霧島連山にはまだ活動している火山もあることをお忘れなく。出かける前に火山活動の最新情報を必ずご確認ください。